宮崎大学発 都農町かわら版

令和5年2月号

宮大が都農町寄附講座で行っている活動や情報を、定期的にお知らせします！

寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、宮崎県内では初めての取り組みです。

毎号変わる都農に来る宮大のひと紹介

都農町に学生が行きやすい環境づくりに努めます！

根岸　裕孝（ねぎしひろたか）先生

宮崎大学地域資源創成学部教授（地域経営学専門）
都農町寄附講座担当副学部長

～～～～プロフィール～～～～

博士（経済学）。栃木県出身。愛称：ねぎポン。
九州大学大学院経済学研究科修士課程修了。
2001年～　宮崎大学　教育文化学部　講師、准教授、
2016年～　宮崎大学　地域資源創成学部
現在　副学部長（教務および寄附講座担当）
大学院附属地域資源情報活用センター長。

教育文化学部時代より都農町の皆様には大変お世話になっております。宮崎大学に着任後、最初に地域づくりに関する講演の依頼を受けたのは都農町でした。着任から日も浅く、地域づくりの現場にお役に立てるような話が満足にできず、もっと勉強しないとダメだと反省した記憶があります。人口減少のなかで持続可能な地域づくりはどのようにあるべきか？　常に問い続けながら都農町の皆さん、学生たちとともに考え実践していければと思っております。
今後ともよろしくお願いいたします。

次回は中間報告冊子をお届けするぴょん

キーワード：地域探索実習Ⅰとは？

地域学部一年生の後学期必修科目で、県内各地の地域に実際に触れ、地域住民と意見交換を行います。その中で、情報収集能力を深めつつ、地域資源とは何かを探る実習です。視察調査等では**市街地と農村・山間部の現状や違い**に触れ、**地域資源への理解力**（状況を正確に把握した上で、必要な情報を収集・分析し、論理的に思考できる力）を更に高め、課題を見いだせる力を身につけることを目的としています。今年度は1年生99名が6グループに分かれ、**都農町には12月に22名が1泊2日で実習訪問**しお世話になりました。詳しくは、かわら版12月号、HP活動報告にて。

2/3(金)地域学部1年生の地域探索実習Ⅰ ポスター発表会を実施しました。

都農町を訪れた6班22名が、班ごとにポスターにまとめた内容をプレゼンテーションしました。発表はZoomで都農町公民館にライブ配信し、役場、財団関係者、実習に関わった町民の方々8名がご参加くださいました。

学生の提案には、中心市街地の一部歩行者天国化や、寺迫地区でのデジタル茶室、木和田地区での棚田保存会発足、下浜地区での防災スタンプラリーなどがあり、次年度学生の主体的な活動としての実現に期待が寄せられました。

また、学生の調査に基づく各地区における課題認識を受け、役場担当課や財団理事からは、詳細を尋ねる質問がありました。ポスターは役場、図書館に掲示予定です。

力作ポスターを是非ご覧ください

2/21(火)寺迫地区で地域探索実習Ⅰポスター発表の上映会を実施しました。

寺迫公民館にて、上記2/3の発表会の録画上映、ポスター掲示をしました。自治会長はじめ地区住民14名の方が集まり報告を視聴いただきました。一過性でもよい、地区の顔見知りになる機会になるので学生の提案をぜひ実施したい、集まる機会をもらって嬉しかった、などの声があり、皆さまに喜んでいただきました。

医学部

地域包括ケア実習 について

地域包括ケア実習は、医学科５～６年生を対象とした全３２週間の参加型臨床実習（クリニカルクラークシップ ※通称クリクラ）のうち、学外実習で行われる４週間の地域医療実習です。都農町立病院では年間５～６名の実習生を受け入れています。地域のかかりつけ医としての仕事（プライマリ・ケア）、地域包括ケア（保健・福祉・介護を含む）、在宅医療、地域完結型医療、多職種連携など大学病院だけでは経験できない実習内容となっています。

実習の様子を覗いてみましょう。

採血の練習

エコーの練習

小児健診後の会議

リハビリ

★☆今月の実習生紹介★☆　地域包括ケア実習

谷山 耕平さん　　医学科５年生
都農町立病院にて２月１７日まで実習

ひと言：２週間お世話になります。都農町のみなさんと関わりながら、都農町の医療について学ばせていただければと思っております。毎日、教えていただいたことをしっかり吸収して成長していきたいです。

私も走りました！

2月のけんこう日記より抜粋（2/10）ランニングと健康　by 坂本遊先生

最近は健康のため、または大会のためにランニングをする人が増えていますが、こんな研究もあります。この研究によると**ランニングをする人はしない人に比べて3年程健康寿命が伸びる**という結果が得られたそうです。しかも、そこまで長時間走ったり、速い速度で走る必要もないようです。もちろん走れば走るほど寿命が伸び続けるというわけではないようですが、**健康のためにも走ることは医学的にも勧められます。**
みなさんも自分のペースでランニングを始められてはいかがですか？

都農けんこう日記

☆ツノタイムズが農学部で表彰されました。

農学部では、地域の活性化に対し特に顕著な貢献を行った学生を表彰する農学特別賞（地域貢献部門）を設け、2019～2021年度の直近3年間で、地域社会と協働した教育研究や地域貢献活動に関する成果により地域の活性化に対し特に顕著な貢献があった学生を選考、1/27に表彰式を行いました。ツノタイムズとして活動してきた農学研究科修士1年の内山智浩さんが最優秀賞で表彰されました。おめでとうございます。

表彰式の様子

瀬川先生、内山さん、外山さん

1/29(日) 第一回みちくさ市に地域学部学生が参加しました。

つの未来財団が主催する「みちくさ市」に地域学部2年生有志4名が参加し、来場者アンケート調査をしました。
今後もみちくさ市をはじめ、学生が中心市街地活性化に向けた実活動に積極的に関わることを期待します。

2/11(土)尾鈴マラソンに医学部、病院の先生方が走者として出場しました！スタート時は着ぐるみで盛り上げました。

デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2023年2月24日（原則毎月発行）
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ: 0983-32-1270（つの未来財団）